

第2章 高齢者の現状と将来推計

1 高齢者の現状と将来推計

1 高齢者数の現状

我が国の人口は令和2年1月1日現在、約1億2,598万人となり、平成20年より人口減少社会に転じています。一方で65歳以上の高齢者数は約3,592万人となっており、総人口に占める高齢者の割合、いわゆる高齢化率は約28.5%となっています。

北海道では令和2年1月1日現在、総人口が約527万人、高齢者数は約166万人となっており、高齢化率は約31.4%となっています。

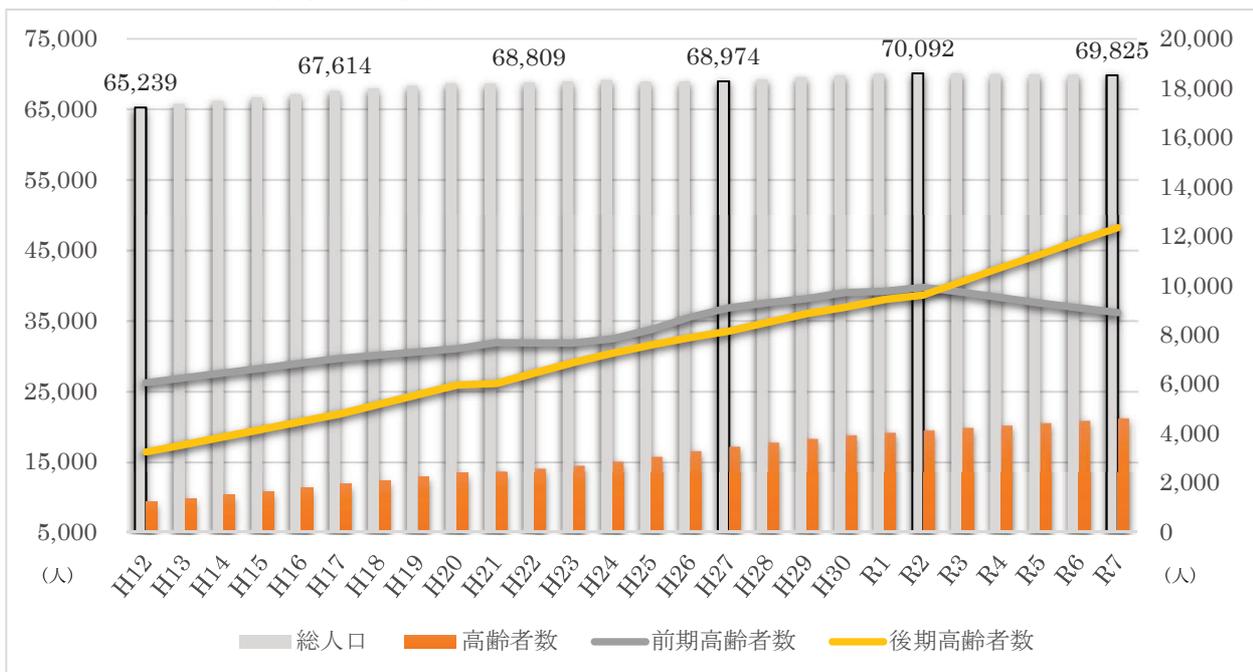
本市の住民基本台帳では令和2年1月1日現在、総人口が70,049人、高齢者数は19,202人となっており、高齢化率は27.4%となっています。

	国 (R2.1.1)	北海道 (R2.1.1)	恵庭市 (R2.1.1)
総人口	約1億2,598万人	約527万人	70,049人
高齢者数	約3,592万人	約166万人	19,202人
高齢化率	約28.5%	約31.4%	27.4%

出展：「恵庭市住民基本台帳」、「人口推計」（総務省統計局）（<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.html>）、

「北海道の高齢者人口の状況」（高齢者保健福祉課）（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/koureshajinkou.htm>）

【恵庭市の人口推計グラフ（参考）】



第2章 高齢者の現状と将来推計

2 高齢者数の推移

令和2年10月1日現在、住民基本台帳に基づく本市の人口は70,092人であり、このうち65歳以上の高齢者数は19,536人、高齢化率は27.9%となっています。

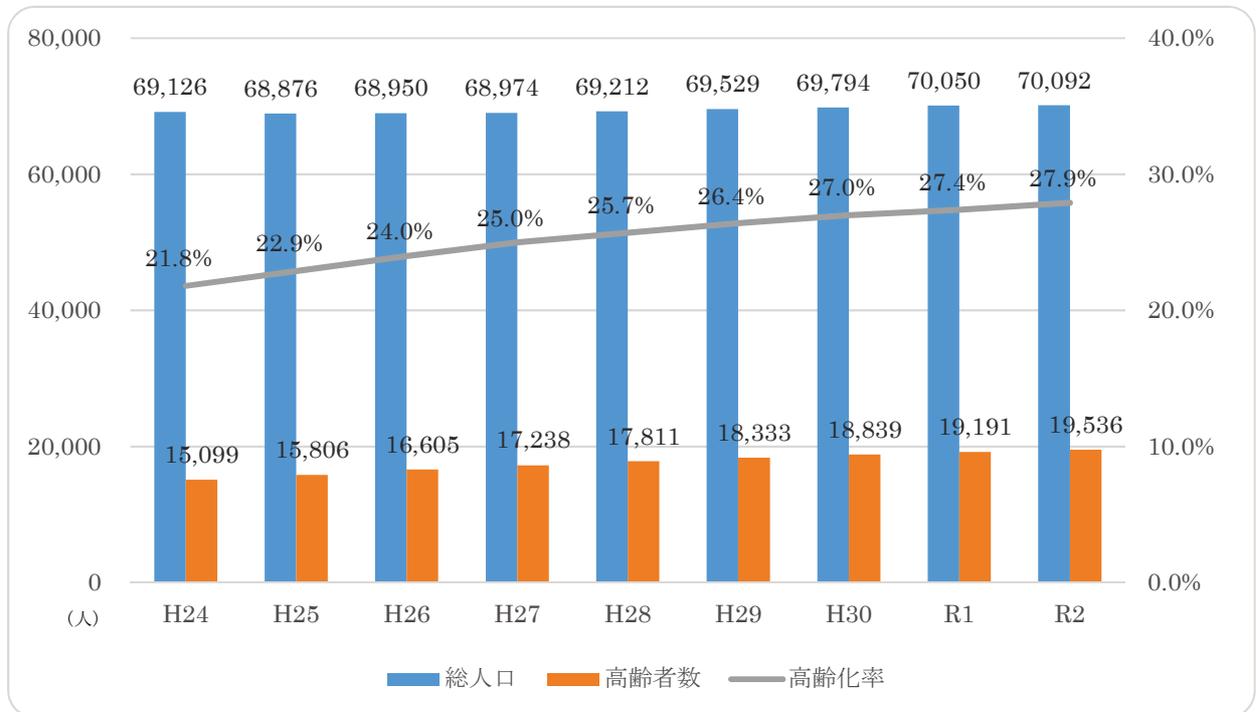
【高齢者数の推移】

〈単位：人〉

計画期間	第5期計画(実績)			第6期計画(実績)			第7期計画(実績)			
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
総人口	69,126	68,876	68,950	68,974	69,212	69,529	69,794	70,050	70,092	
高齢者人口	人数	15,099	15,806	16,605	17,238	17,811	18,333	18,839	19,191	19,536
	高齢化率	21.8%	22.9%	24.0%	25.0%	25.7%	26.4%	27.0%	27.4%	27.9%
前期高齢者 (65~74歳)	人数	7,836	8,214	8,719	9,092	9,299	9,465	9,713	9,764	9,922
	比率	11.3%	11.9%	12.6%	13.2%	13.4%	13.6%	13.9%	13.9%	14.2%
後期高齢者 (75歳~)	人数	7,263	7,592	7,886	8,146	8,512	8,868	9,126	9,427	9,614
	比率	10.5%	11.0%	11.4%	11.8%	12.3%	12.8%	13.1%	13.5%	13.7%
40~64歳 人口	人数	23,917	23,844	23,662	23,539	23,505	23,520	23,550	23,689	23,668
	比率	34.6%	34.6%	34.3%	34.1%	34.0%	33.8%	33.7%	33.8%	33.8%

※各年10月1日時点

【高齢者数の推移グラフ】



※各年10月1日時点

第2章 高齢者の現状と将来推計

3 高齢者数の将来推計

高齢者数の将来推計値を算出すると、令和4年度の高齢化率は28.9%、団塊世代が75歳以上となる令和7（2025）年度には30.4%となり、高齢者数も21,240人となることが予測されます。

また、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22（2040）年度については、高齢化率が36.5%となり、高齢者数も24,089人となることが予想され、これは、恵庭市民の3人に1人が65歳以上の高齢者となることを示しています。

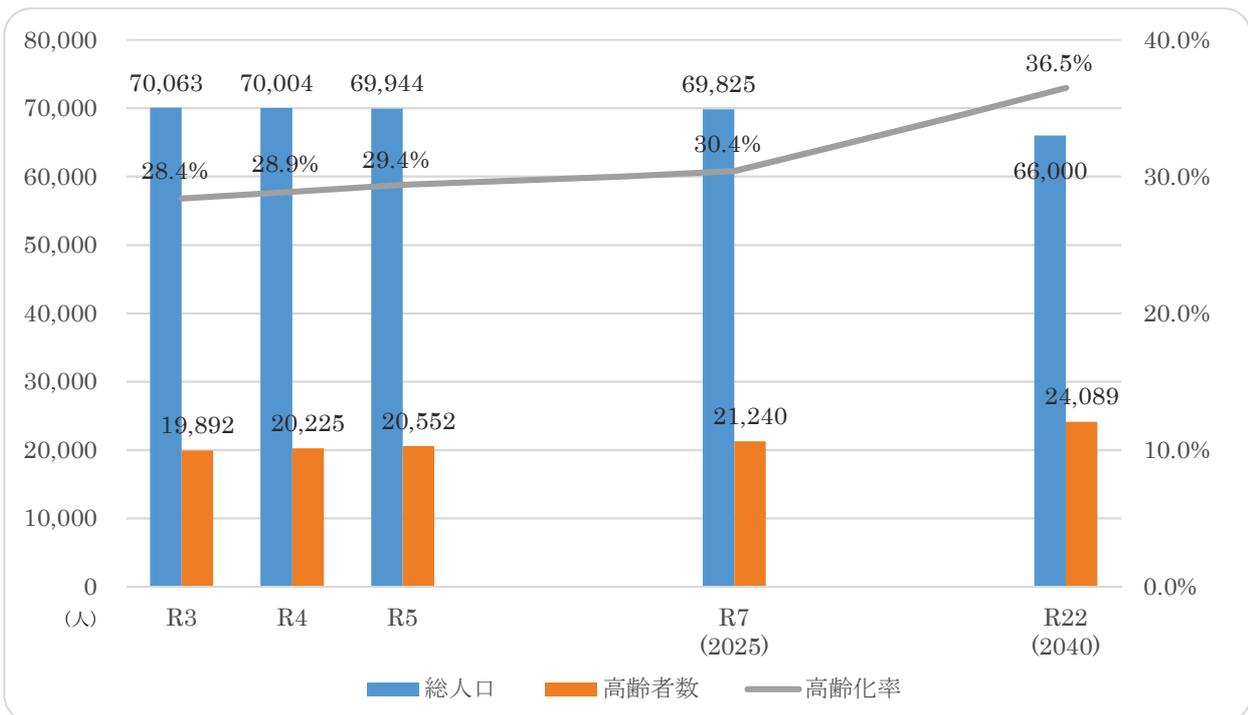
【高齢者数の将来推計】

計画期間	第8期計画(推計)			将来推計	将来推計	
	R3	R4	R5			
総人口	70,063	70,004	69,944	69,825	66,000	
高齢者人口	人数	19,892	20,225	20,552	21,240	24,089
	高齢化率	28.4%	28.9%	29.4%	30.4%	36.5%
前期高齢者 (65~74歳)	人数	9,727	9,505	9,290	8,896	9,792
	比率	13.9%	13.6%	13.3%	12.7%	14.8%
後期高齢者 (75歳~)	人数	10,165	10,720	11,262	12,344	14,297
	比率	14.5%	15.3%	16.1%	17.7%	21.7%
40~64歳人口	人数	23,535	23,408	23,281	23,026	18,802
	比率	33.6%	33.4%	33.3%	33.0%	28.5%

※各年10月1日時点での推計値

※推計値については、企画課作成による「2019 恵庭市人口ビジョン」をもとに算出。

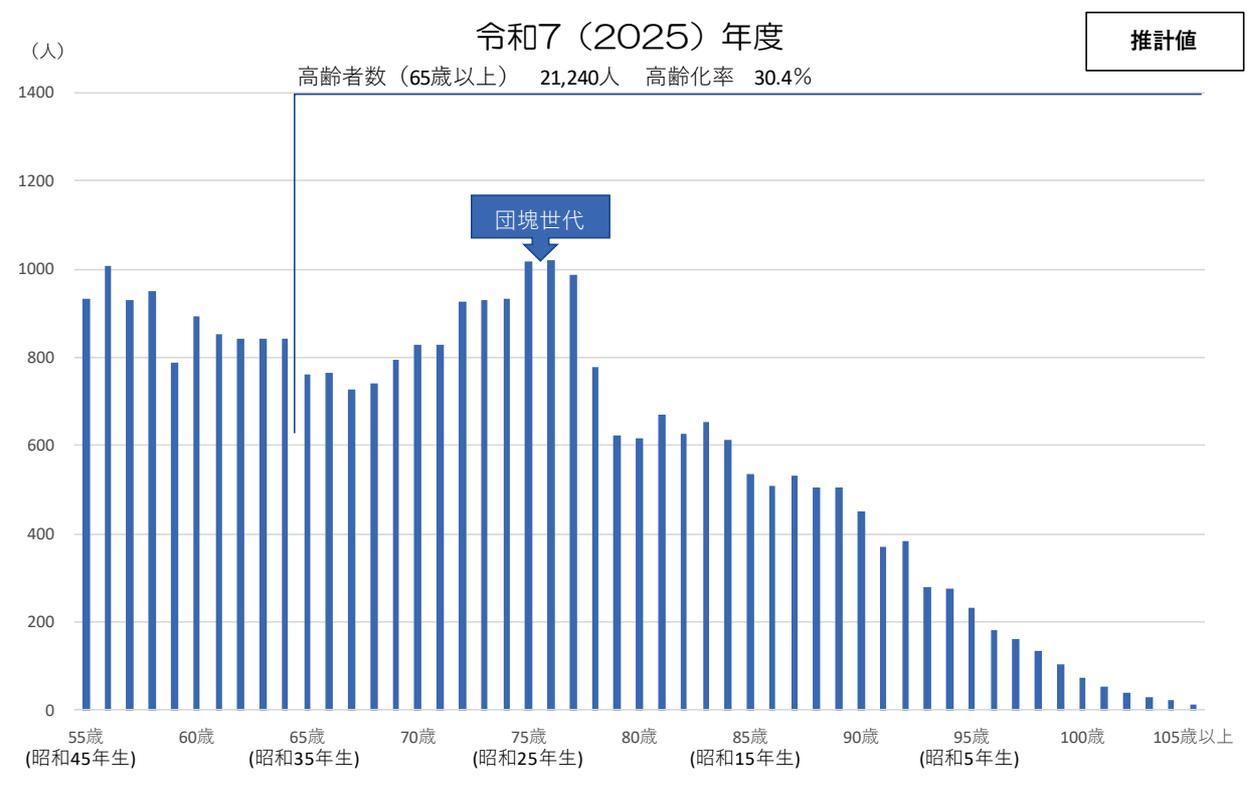
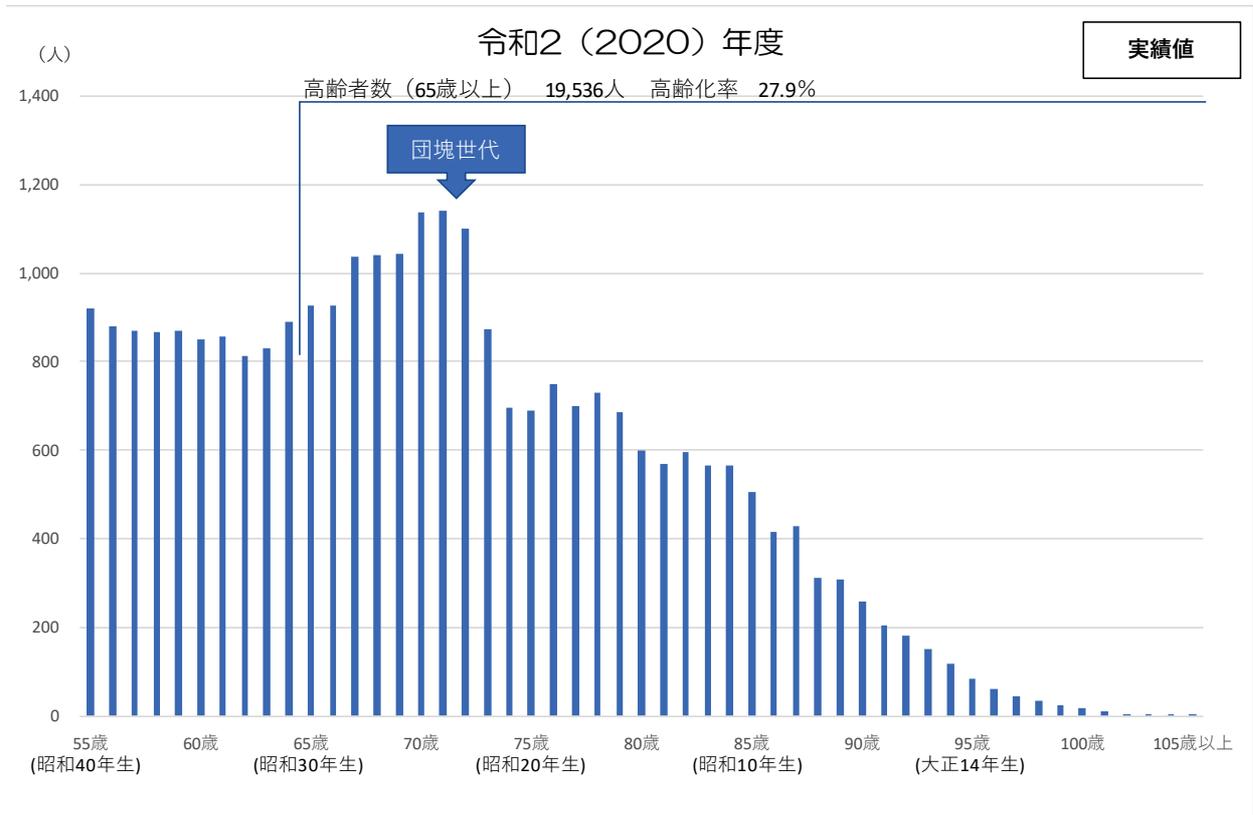
【高齢者数の将来推計グラフ】



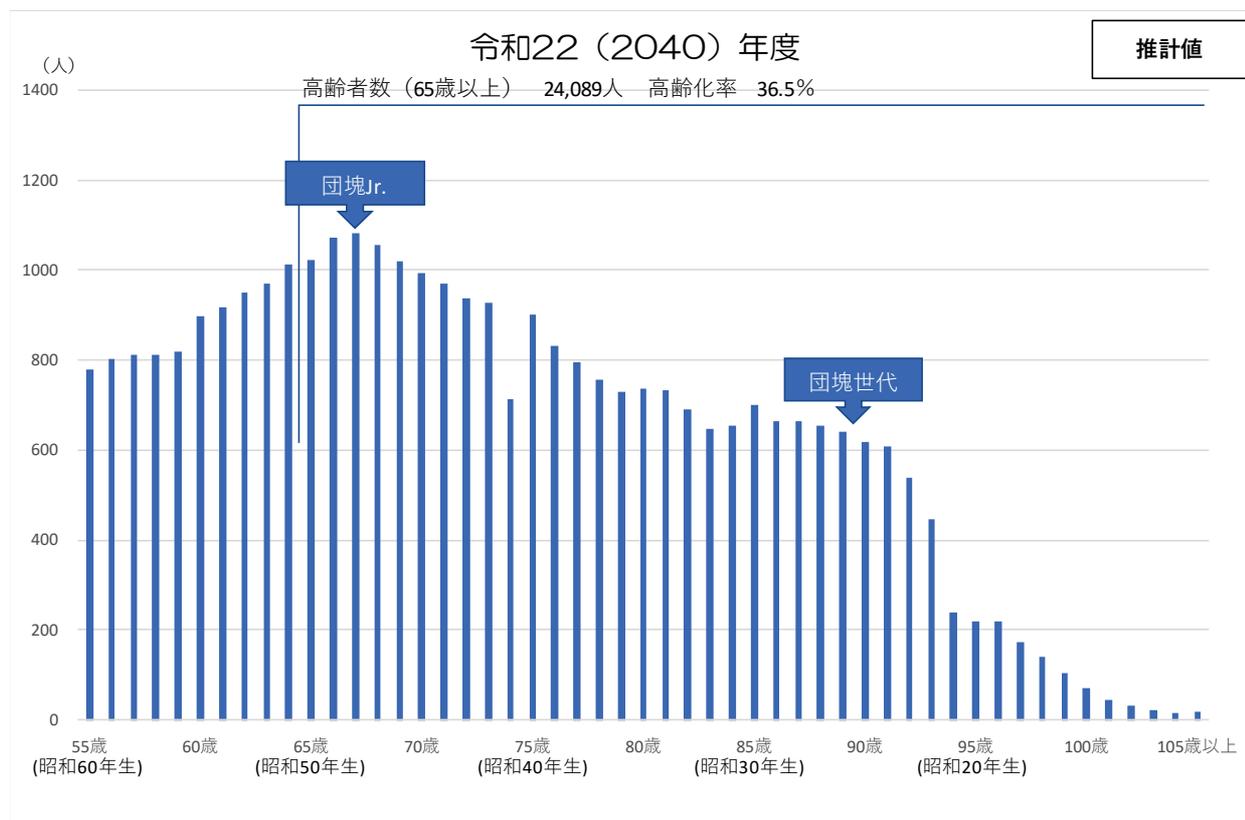
※各年10月1日時点

第2章 高齢者の現状と将来推計

【高齢者数の将来推計グラフ（年齢別 55歳～）】



第2章 高齢者の現状と将来推計



🍵 コラム 2040年問題

日本で少子高齢化が進んでいることは、誰もが知っている事実でしょう。

しかし、少子高齢化が進んでいくことで、実際に自分にどのような影響があるのか理解していない人も多いのではないのでしょうか。

実は、少子高齢化問題は令和 22（2040）年に特に深刻になるといわれており、令和 2 年現在とは生活が大きく変わる可能性があります。

令和 22（2040）年といえば、現在 20 歳の人には 40 歳、現在 50 歳の人には 70 歳をそれぞれ少し超えたあたり。それほど遠い未来ではありません。

令和 22（2040）年以降は、労働人口が激減して労働力不足が深刻になるだけでなく、年金や医療費などの社会保障費も増大することが予想されています。

2040 年問題は、もはや避けようがない問題だといえるでしょう。より多くの人々が働けるような環境の整備や健康な人が増える取組み、医療サービスの生産性向上などの対策が考えられていますが、今の段階から自分自身でも健康への関心度を高め、生活習慣病などの疾病予防を行い将来に向けた対策をすることが望ましいといえるでしょう。

2 要支援・要介護認定者の現状と将来推計

1 要支援・要介護認定者数の推移

令和2年度の第1号被保険者の要支援・要介護認定者数は2,947人、認定率は15.1%となっています。平成28年度まで高齢者数と同様に認定者数も増加していましたが、本市では、平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業を実施しており、要支援者の一部が予防給付から総合事業へ移行したことから、認定者数及び認定率が一時的に減少しています。

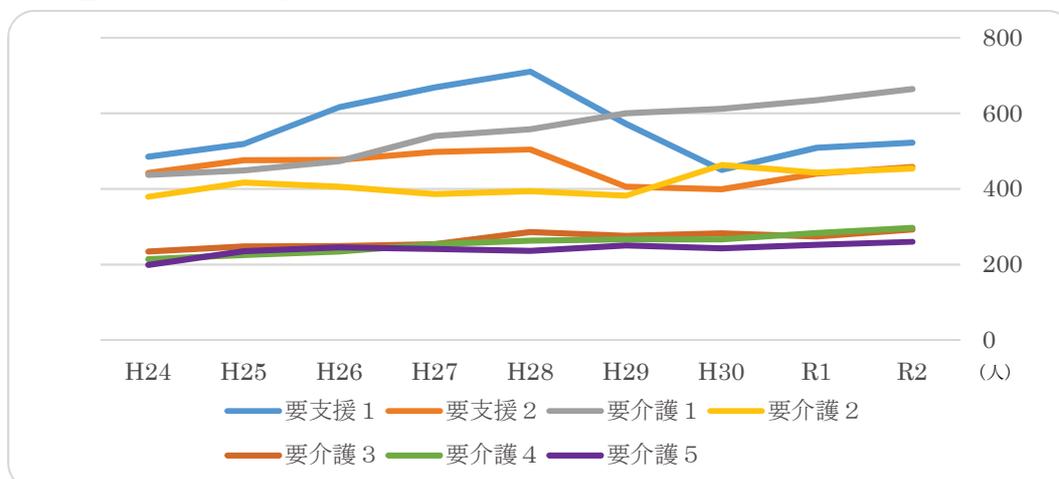
【要支援・要介護認定者数の推移】

<単位：人>

計画期間	第5期計画(実績)			第6期計画(実績)			第7期計画(実績)			
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
第1号被保険者	要支援1	485	519	616	668	710	572	467	503	522
	要支援2	442	476	477	498	504	406	397	441	458
	要支援計	927	995	1,093	1,166	1,214	978	864	944	980
	要介護1	437	449	473	540	558	600	620	631	664
	要介護2	379	417	406	386	394	382	461	451	454
	要介護3	234	248	249	254	286	276	278	267	292
	要介護4	214	225	234	254	263	266	263	284	297
	要介護5	199	235	245	241	236	250	246	259	260
	要介護計	1,463	1,574	1,607	1,675	1,737	1,774	1,868	1,892	1,967
	計	2,390	2,569	2,700	2,841	2,951	2,752	2,732	2,836	2,947
	認定率(高齢者に占める割合)	15.8%	16.2%	16.3%	16.5%	16.6%	15.0%	14.5%	14.8%	15.1%
第2号被保険者	70	67	77	76	81	70	69	75	73	
合計	2,460	2,636	2,777	2,917	3,032	2,822	2,801	2,911	3,020	

※各年10月1日時点

【認定者数の推移グラフ】



※各年10月1日時点

2 要支援・要介護認定者数の将来推計

高齢化の進展と共に認定者数も増加し、令和7(2025)年度には3,473人、認定率は16.4%まで上昇することが予測されます。

【要支援・要介護認定者数の将来推計】

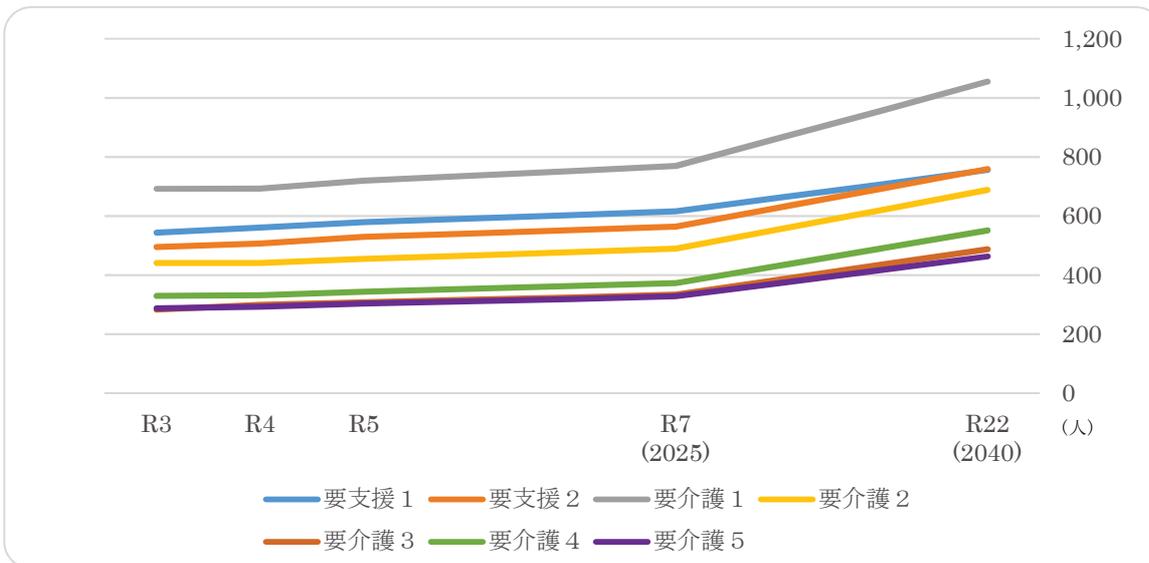
<単位：人>

計画期間		第8期計画(推計)			将来推計 R7 (2025)	将来推計 R22 (2040)
		R3	R4	R5		
第1号被保険者	要支援1	543	561	579	616	756
	要支援2	495	507	529	564	759
	要支援計	1,038	1,068	1,108	1,180	1,515
	要介護1	692	693	720	769	1,055
	要介護2	441	441	455	489	688
	要介護3	283	299	308	334	487
	要介護4	329	331	343	373	551
	要介護5	287	293	303	328	463
	要介護計	2,032	2,057	2,129	2,293	3,244
	計	3,070	3,125	3,237	3,473	4,759
認定率(高齢者に占める割合)		15.4%	15.5%	15.8%	16.4%	19.8%
第2号被保険者		77	76	76	76	63
合計		3,147	3,201	3,313	3,549	4,822

※各年10月1日時点での推計値

※推計値については、厚生労働省提供による「地域包括ケア『見える化システム』」により算出。

【認定者数の将来推計グラフ】



※各年10月1日時点

3 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者の現状と将来推計

令和2年度の総合事業対象者数は333人となっています。本市では平成29年度より総合事業を実施し、従来の介護予防訪問介護と介護予防通所介護を総合事業へ移行しているほか、訪問型短期集中予防事業と通所型短期集中予防事業を総合事業として実施しています。毎年約100名の新規申請がありますが、ほぼ同数が死亡や転出、要介護認定による資格喪失によって対象者から外れているため、横ばいの実績となっています。

【総合事業対象者数の推移】

<単位：人>

計画期間	第6期(実績)		第7期計画(実績)	
	H29	H30	R1	R2
事業対象者	312	330	333	333

※各年10月1日時点

介護予防を必要とする高齢者にサービスを提供するための取組みを進めていくとともに、総合事業対象者を受け入れられる基盤の整備を進め、総合事業の充実を図ることによって、令和7(2025)年度には394人、令和22(2040)年度には493人まで増加することが予測されます。

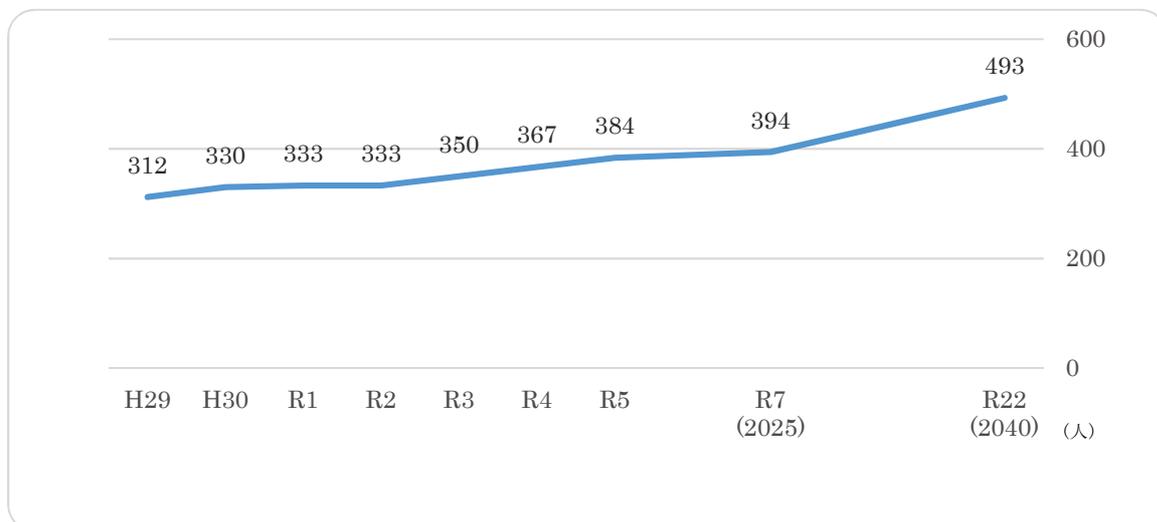
【総合事業対象者の将来推計】

<単位：人>

計画期間	第8期計画(予測)			将来予測	将来予測
	R3	R4	R5		
事業対象者	350	367	384	R7 (2025) 394	R22 (2040) 493

※各年10月1日時点での推計値

【総合事業対象者数の推移及び将来推計グラフ】



※各年10月1日時点

4 日常生活圏域の設定

1 日常生活圏域

日常生活圏域とは、その住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況、その他の条件を総合的に勘案して定める区域として介護保険法で規定されており、概ね 30 分以内に必要なサービスが提供される区域として、学校区などを単位として想定しています。

本市においては、圏域の設定が介護保険法に規定された「第3期介護保険事業計画（平成18～20年度）」より、小学校区を基本とした圏域を設定していました。しかし、高齢者人口の増加に伴い、圏域間のバランスが崩れ、一部の地域包括支援センターの業務負担が増大したことから、より適切な圏域のあり方について検討を進めた結果、高齢者人口や地域等の平準化を行うべく、第6期事業計画中の平成28年度より3カ所から4カ所へと日常生活圏域の見直しを行い、新たに中島・恵み野地域包括支援センターを設置しました。

恵庭市地域包括支援センター	担当地域
たよれーる ひがし (ひがし地域包括支援センター)	漁太 春日 中央 上山口 戸磯 和光町 黄金北 黄金南 黄金中央 相生町 緑町 住吉町 末広町 栄恵町 泉町 京町 漁町 福住町 新町 本町
たよれーる みなみ (みなみ地域包括支援センター)	有明町 大町 文京町 牧場 盤尻 桜森 恵央町 幸町 柏木町 美咲野 桜町 駒場町 白樺町 恵南
たよれーる きた (きた地域包括支援センター)	島松寿町 島松仲町 島松東町 島松本町 島松旭町 北島 島松沢 下島松 中島松 西島松 林田 穂栄 南島松 北柏木町 柏陽町
たよれーる 中島・恵み野 (中島・恵み野地域包括支援センター)	中島町 恵み野東 恵み野西 恵み野南 恵み野北 恵み野里美

第2章 高齢者の現状と将来推計

2 日常生活圏域の状況等

市内の4つの日常生活圏域の高齢者数、要支援・要介護認定者数、総合事業対象者数、サービス利用者数は次のとおりです。

高齢者数

〔令和2年4月1日現在〕

日常生活圏域		ひがし		みなみ		きた		中島・恵み野		計		
人口	合計	22,952人		17,430人		13,059人		16,459人		69,900人		
	男性	11,225人	48.9%	8,672人	49.8%	6,266人	48.0%	7,859人	47.7%	34,022人	48.7%	
	女性	11,727人	51.1%	8,758人	50.2%	6,793人	52.0%	8,600人	52.3%	35,878人	51.3%	
高齢者数 (高齢化率)	人数	5,079人	22.1%	4,669人	26.8%	4,357人	33.4%	5,249人	31.9%	19,354人	27.7%	
	男性	2,170人	19.3%	2,022人	23.3%	1,863人	29.7%	2,399人	30.5%	8,454人	24.8%	
	女性	2,909人	24.8%	2,647人	30.2%	2,494人	36.7%	2,850人	33.1%	10,900人	30.4%	
	前期高齢者 (65～74歳)	人数	2,481人	10.8%	2,201人	12.6%	2,097人	16.1%	3,058人	18.6%	9,837人	14.1%
		男性	1,160人	10.3%	1,020人	11.8%	994人	15.9%	1,491人	19.0%	4,665人	13.7%
		女性	1,321人	11.3%	1,181人	13.5%	1,103人	16.2%	1,567人	18.2%	5,172人	14.4%
	後期高齢者 (75歳～)	人数	2,598人	11.3%	2,468人	14.2%	2,260人	17.3%	2,191人	13.3%	9,517人	13.6%
		男性	1,010人	9.0%	1,002人	11.6%	869人	13.9%	908人	11.6%	3,789人	11.1%
		女性	1,588人	13.5%	1,466人	16.7%	1,391人	20.5%	1,283人	14.9%	5,728人	16.0%

要支援・要介護認定者数

〔第1号被保険者〕

〔令和2年4月1日現在〕

日常生活圏域	住所地特例	ひがし		みなみ		きた		中島・恵み野		計	
要支援者	21人	226人	4.4%	224人	4.8%	217人	5.0%	258人	4.9%	946人	4.9%
要支援1	11人	102人	2.0%	118人	2.5%	113人	2.6%	150人	2.9%	494人	2.6%
要支援2	10人	124人	2.4%	106人	2.3%	104人	2.4%	108人	2.1%	452人	2.3%
要介護者	76人	498人	9.8%	470人	10.1%	467人	10.7%	435人	8.3%	1,946人	10.1%
要介護1	20人	179人	3.5%	147人	3.1%	155人	3.6%	153人	2.9%	654人	3.4%
要介護2	10人	113人	2.2%	103人	2.2%	107人	2.5%	100人	1.9%	433人	2.2%
要介護3	14人	76人	1.5%	77人	1.6%	63人	1.4%	63人	1.2%	293人	1.5%
要介護4	14人	74人	1.5%	74人	1.6%	72人	1.7%	62人	1.2%	296人	1.5%
要介護5	18人	56人	1.1%	69人	1.5%	70人	1.6%	57人	1.1%	270人	1.4%
計／認定率	97人	724人	14.3%	694人	14.9%	684人	15.7%	693人	13.2%	2,892人	14.9%

総合事業対象者数

〔第1号被保険者〕

〔令和2年10月1日現在〕

日常生活圏域	住所地特例	ひがし		みなみ		きた		中島・恵み野		計	
総合事業対象者	人	92人	27.6%	94人	28.2%	87人	26.1%	60人	18.0%	333人	67.4%

第2章 高齢者の現状と将来推計

第2章 高齢者の現状と将来推計

サービス利用者数										
第1号被保険者 令和2年3月利用分										
日常生活圏域	住所地 特例	ひがし		みなみ		きた		中島・恵み野		計
担 当		ひがし地域包括 支援センター		みなみ地域包括 支援センター		きた地域包括 支援センター		中島・恵み野地 域包括		
介護予防サービス	17人	163人	24.6%	158人	23.8%	159人	24.0%	166人	25.0%	663人
訪問看護	人	20人	18.5%	14人	13.0%	43人	39.8%	31人	28.7%	108人
訪問リハ	人	2人	22.2%	4人	44.4%	人	0.0%	3人	33.3%	9人
居宅療養管理指導	5人	5人	21.7%	3人	13.0%	6人	26.1%	4人	17.4%	23人
通所リハ	人	16人	24.6%	16人	24.6%	11人	16.9%	22人	33.8%	65人
短期入所生活介護	人	2人	40.0%	3人	60.0%	人	0.0%	人	0.0%	5人
短期入所療養介護	人	人	0.0%	1人	50.0%	1人	50.0%	人	0.0%	2人
福祉用具貸与	2人	108人	27.0%	111人	27.8%	92人	23.0%	87人	21.8%	400人
特定施設入居者生活介護	7人	7人	17.1%	5人	12.2%	4人	9.8%	18人	43.9%	41人
小規模多機能型居宅介護	3人	2人	25.0%	1人	12.5%	2人	25.0%	人	0.0%	8人
認知症対応型共同生活介護	人	1人	50.0%	人	0.0%	人	0.0%	1人	50.0%	2人
居宅サービス	132人	488人	24.7%	443人	22.4%	428人	21.7%	485人	24.5%	1,976人
訪問介護	16人	69人	26.5%	68人	26.2%	52人	20.0%	55人	21.2%	260人
訪問入浴	人	3人	16.7%	8人	44.4%	3人	16.7%	4人	22.2%	18人
訪問看護	14人	51人	25.4%	33人	16.4%	48人	23.9%	55人	27.4%	201人
訪問リハ	2人	7人	29.2%	4人	16.7%	7人	29.2%	4人	16.7%	24人
居宅療養管理指導	48人	53人	21.6%	38人	15.5%	47人	19.2%	59人	24.1%	245人
通所介護	7人	75人	23.8%	89人	28.3%	73人	23.2%	71人	22.5%	315人
通所リハ	5人	35人	24.3%	32人	22.2%	38人	26.4%	34人	23.6%	144人
短期入所生活介護	人	14人	21.2%	20人	30.3%	11人	16.7%	21人	31.8%	66人
短期入所療養介護	人	5人	27.8%	1人	5.6%	6人	33.3%	6人	33.3%	18人
福祉用具貸与	31人	139人	25.2%	137人	24.9%	122人	22.1%	122人	22.1%	551人
特定施設入居者生活介護	9人	37人	27.6%	13人	9.7%	21人	15.7%	54人	40.3%	134人
地域密着型サービス	27人	147人	28.1%	132人	25.2%	110人	21.0%	107人	20.5%	523人
定期巡回・随時対応型サービス	17人	2人	9.1%	人	0.0%	2人	9.1%	1人	4.5%	22人
地域密着型通所介護	4人	69人	31.8%	59人	27.2%	40人	18.4%	45人	20.7%	217人
認知症通所介護	人	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%	人
小規模多機能型居宅介護	6人	5人	16.1%	7人	22.6%	6人	19.4%	7人	22.6%	31人
認知症対応型共同生活介護	人	54人	32.1%	43人	25.6%	33人	19.6%	38人	22.6%	168人
地域密着型介護老人福祉施設	人	17人	20.0%	23人	27.1%	29人	34.1%	16人	18.8%	85人
看護小規模多機能型居宅介護	人	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%	人	0.0%	人
施設サービス	14人	55人	25.6%	54人	25.1%	53人	24.7%	39人	18.1%	215人
介護老人福祉施設	12人	22人	19.5%	29人	25.7%	25人	22.1%	25人	22.1%	113人
介護老人保健施設	1人	15人	30.6%	12人	24.5%	14人	28.6%	7人	14.3%	49人
介護医療院	人	3人	75.0%	1人	25.0%	人	0.0%	人	0.0%	4人
介護療養型医療施設	1人	15人	30.6%	12人	24.5%	14人	28.6%	7人	14.3%	49人
居宅介護支援・介護予防支援	49人	344人	25.3%	338人	24.8%	320人	23.5%	311人	22.8%	1,362人
計	239人	1,197人	25.3%	1,125人	23.7%	1,070人	22.6%	1,108人	23.4%	4,739人

※数値は、延べ人数を表し、数値の入っていない「人」は、「0人」を表す。

※パーセンテージはそのサービスに占める各圏域の割合を表す。

サービス利用率	
第1号被保険者 令和2年4月1日現在	
要支援・要介護認定者	2,892人
未利用者	462人
サービス利用率	84.0%